倉吉パークスクエアに設置する飲料品自動販売機設置者募集要項

倉吉パークスクエアに設置する飲料品自動販売機設置者を次のとおり募集します。

1 種類

設置する飲料品自動販売機（以下「自動販売機」という。）は、清涼飲料水とします。アルコール類の販売は、禁止します。

2 設置箇所及び台数

(1) 多目的広場屋外トイレ前	1台（横1,290mm 奥行き920mm 高さ2,150mm）
(2) 倉吉交流プラザ内1階エントランス	1台（横1,050mm 奥行き800mm 高さ1,945mm）
(3) 県立美術館側屋外トイレ前	1台（横1,290mm 奥行き920mm 高さ2,150mm）

3 設置期間

令和7年4月1日から令和9年3月31日まで（年度ごとに行政財産使用料を御負担いただきます）

4 応募の資格 次の全てに当てはまる者

- (1) 応募の申請者（以下「申請者」という。）は倉吉市内に住所を有する者であること。
- (2) 飲料品の小売若しくは卸を行っている者又は現に市内において自動販売機での営業を行っている者であること。この場合において、申請者は、共同で管理する者（倉吉市内に事業所を置いている者に限る。以下「共同管理者」という。）を置くことができる。共同管理者を置く場合は、(2)については共同管理者が満たしていれば良いものとする。申請者は、他者の共同管理者になることはできない。
- (3) 土曜日、日曜日、祝日に自動販売機の飲料品を供給できる者であること。
※空き缶入れを設置し、回収することの他、常に付近の美観を損なわないように配慮するとともに、倉吉パークスクエアの景観にあわせ、倉吉市と協議し、自動販売機の色等に配慮していただきます。
※バリアフリーの観点から、車椅子等の方でも利用できる自動販売機を設置してください。
※工事を伴うもの（水道直結工事など）については、設置不可とします。
※倉吉交流プラザ内1階エントランスについては、休館日には飲料品の供給はできません。

5 自動販売機の設置が決定した場合の手続き

- (1) 行政財産使用協定書の締結
自動販売機の設置が決定した申請者（以下「設置者」という。）は倉吉市と行政財産使用協定書（以下「協定書」という。）を交わすものとします。
- (2) 行政財産使用申請書の提出
自動販売機の設置については、倉吉市行政財産使用料条例（昭和39年倉吉市条例第17号）に基づくものであるため、設置者となった際は速やかに行政財産使用申請書を提出してください。

6 納付すべき料金

- (1) 行政財産使用料として、倉吉市行政財産使用料条例第2条の規定により算定した額を倉吉市が定めた納付期限内に支払っていただきます。
※参考：令和6年度行政財産使用料 11,800円（年額）
- (2) 電気使用料として、自動販売機設置者負担により電気小メーターを設置し、電力会社へ納付すべき電気使用料の実費相当額を支払っていただきます。
- (3) 倉吉パークスクエア利用促進協力金として毎月売上の5%相当額を支払っていただきます。
※各請求は設置者に対して行います。

7 自動販売機の設置条件等

- (1) 設置者は、使用許可物件の全部又は一部を転貸し、又は使用权の譲渡をすることはできません。
- (2) 管理運営については、次のことを遵守してください。
 - ア 商品の賞味期限切れがないように注意するとともに、商品補充、金銭管理など自動販売機の維持管理については、設置者又はその共同管理者が適切に行ってください。
 - イ 自動販売機1台に1個以上の割合で回収ボックスを設置し、設置者の責任で適切に回収・リサイクルを行ってください。
 - ウ 自動販売機、回収ボックス、自動販売機周辺は清潔に保つようになしてください。
 - エ 自動販売機の故障、つり銭不足などの苦情については設置者の責任において迅速に対応してください。
- (3) 売上額及び電気子メーターの数値を月ごとに、文書（報告の様式は問いません。）により報告してください。
- (4) 使用料等の納付すべき料金を納付すべき日から2カ月以上滞納した場合は、許可の取り消しを行うことがあります。
- (5) 設置者は、使用許可期間が満了したとき、又は使用許可を取り消されたときは、速やかに使用許可物件を原状に回復して返還してください。
- (6) 損害賠償については、次のとおりとします。
 - ア 設置者は、その責に帰する理由により、使用許可物件の全部又は一部を滅失又はき損したときは、当該滅失又はき損による使用許可物件の損害額に相当する金額を損害賠償として支払わなければなりません。ただし、使用許可物件を原状に復した場合は、この限りではありません。
 - イ 設置者は、協定書に定める義務を履行しないため本市に損害を与えたときは、損害額に相当する金額を損害賠償額として支払わなければなりません。
- (7) 使用許可物件に投じた費用は、理由のいかんを問わず、すべて設置者の負担とし、これを本市に請求することができません。

8 設置者決定の取消し

次のいずれかに該当する場合は、設置者としての決定を取り消します。

- (1) 指定する期日までに協定書及び行政財産使用申請の手続きを行わなかったとき。
- (2) 申請の内容に虚偽の記載があったとき。
- (3) 設置者が応募の資格を失ったとき。
- (4) 著しく社会的信用を損なう行為等により、設置者としてふさわしくないと本市が判断したとき。

9 使用許可の取消し

次のいずれかに該当する場合は、使用許可を取り消します。

- (1) 使用期間中に、本市において公用若しくは公共用に供する必要が生じたとき。
- (2) 協定書の条件に違反する行為が認められたとき。
- (3) 申請の内容に虚偽の記載があったとき。
- (4) 著しく社会的信用を損なう行為等により、設置者としてふさわしくないと本市が判断したとき。

10 申請資格の喪失

次のいずれかに該当する場合は、その原因となる日から2年間、自動販売機に関する申請資格を失います。

- (1) 設置者が指定する期日までに使用許可申請の手続きを行わなかったとき。
- (2) 協定書の条件に違反する行為が認められ、使用許可が取消されたとき。
- (3) 申請の内容に虚偽の記載があったとき。
- (4) 正当な理由なく、自動販売機の設置を辞退したとき。

11 募集期間

令和7年2月1日（土）～令和7年2月28日（金） 午後5時必着

12 申請手続

次の書類に必要事項を記入し、提出してください。複数の設置箇所を申請することができますが、設置者は1者につき、設置できる箇所は1箇所とします。同一の設置箇所に複数の申請があった場合は抽選により決定します。抽選順は、2の設置箇所に記載の順とします。

- (1) 倉吉パークスクエアに設置する飲料品自動販売機設置申請書（様式1）
- (2) 飲料品の小売若しくは、卸し業の営業を証明するもの（申請者又は共同管理者の営業許可書の写し等）又は飲料品自動販売機設置状況報告書（様式2）
- (3) 設置予定の自動販売機カタログ

13 決定方法及び期日

- (1) 複数の申し込みがあった場合は抽選とします。
※抽選となった場合は、該当申請者に文書で通知します。
- (2) 抽選及び決定日時（予定）※日時は変更になる場合があります。

日時 令和7年3月14日（金） 午後1時30分～

場所 倉吉交流プラザ2階 第1研修室

抽選順 2の(1)から順に抽選

※申請者1者につき設置が可能な自動販売機は1箇所になります。設置が決まった者は以降の抽選には参加できません。

【問合わせ・申込み先】

〒682-0816

倉吉市駄経寺町187-1 倉吉交流プラザ内
倉吉市立図書館 TEL0858-47-1181